

【開催概要】

- 日時 平成27年2月6日（金） 午前9時35分～11時05分
- 場所 新潟市役所 本館6階 第2委員会室
- 出席委員 委員長 五十嵐 由利子，副委員長 黒野 弘靖，委員 朝妻 邦夫，
委員 岩佐 明彦，委員 上野 香代子，委員 佐藤 由香子，
委員 高松 智子，委員 林 八寿子，委員 平松 勝，
委員 遠藤 良博
- 欠席委員 委員 加藤 雅之，委員 池田 博俊
- 事務局 住環境政策課 課長 川瀬 正之，課長補佐 清水 隆志，
課長補佐 石渡 一彦，他3名
委託業者（株式会社 サンワコン）3名
- 傍聴 0名
- 報道 0名

【会議概要】

1. 開会

（省略）

2. 新計画の評価指標について

「にいがた住まい環境基本計画 指標編」について、アウトカム指標の目標値設定の考え方を中心に説明。

◦委員発言概要

- ・「指標⑥ 新築住宅における認定長期優良住宅の割合」について、現制度は新築のみが対象となっているが、将来的にリフォームも対象になる可能性があるため、新制度を見据えた（リフォームを含んだ）目標値設定が望ましいと考えられる。しかし、新制度の内容が明らかになっていない現時点では、目標値の設定が困難であることから、今後、制度の変更があった時点で本指標の見直しを検討していただきたい。
- ・目標値の設定について、素案のように国や県の目標値を踏まえて市の目標値を設定し、その実現に向けて事業を展開していくという考え方もあるが、逆に、市が取り組む事業の効果を積み上げて目標値を設定する方法も考えられる。しかし、事業は計画期間内に適宜見直されるため、現時点ですべての効果を積み上げることは困難である。また、事業実施によって期待される間接的な効果（波及効果）を捉えることも困難である。よって、目標値設定は、今回の素案の考え方を採用する。

3. 閉会

（省略）

【配布資料】

- ・資料1 にいがた住まい環境基本計画（指標編素案）
- ・資料2 アウトカム指標の目標値設定について
- ・参考資料 前回会議における主な委員意見とその対応